

新「共通テスト」勉強のツボ

令和元年 8月
松江北高英語科 八幡成人

出題教科・科目の問題作成の方針【英語】

※下線は八幡

○ 高等学校学習指導要領では、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにすることを目標としていることを踏まえて、4技能のうち「読むこと」「聞くこと」の中でこれらの知識が活用できるかを評価する。したがって、発音、アクセント、語句整序などを単独で問う問題は作成しないこととする。

○ 「リーディング」「リスニング」ともに、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）を参考に、各 CEFR レベルにふさわしいテキスト作成と設問設定を行うことで、A1 から B1 レベル に相当する問題を作成する。また、実際のコミュニケーションを想定した明確な目的や 場面、状況の設定を重視する。

○ 「リーディング」については、様々なテキストから概要や要点を把握する力や必要とする情報を読み取る力等を問うことをねらいとする。

○ 「リスニング」については、生徒の身近な暮らしや社会での暮らしに関わる内容について、概要や要点を把握する力や必要とする情報を聞き取る力等を問うことをねらいとする。音声については、多様な話者による現代の標準的な英語を使用する。読み上げ回数については、英語の試行調査の結果や資格・検定試験におけるリスニング試験の一般的な在り方を踏まえ、問題の数の充実を図ることによりテストの信頼性が更に向上することを目的として、1 回読みを含める。十分な読み上げ時間を確保し、重要な情報は形を変えて複数回言及するなど、自然なコミュニケーションに近い英語の問題を含めて検討する。全ての問題を 1 回読みにする可能性についても今後検証しつつ、当面は1回読みと2回読みの両方の問題を含む構成で実施することとする。

○ グローバル人材の育成を目指した英語教育改革の方向性の中で高等学校学習指導要領に示す4技能のバランスの良い育成が求められていることを踏まえ、「リーディング」と「リスニング」の配点を均等とする。ただし、各大学の入学者選抜において、具体的にどの技能にどの程度の比重を置くかについては、4技能を総合的に評価するよう努めるという「大学入学共通テスト実施方針」（平成 29 年 7 月）を踏まえた各大学の判断となる。

（2019年6月7日 大学入試センター発表）

●リーディング（100点）

「三種の神器」を磨け！！

- ①語彙力の養成
- ②文法力の養成
- ③解釈力の養成



★2018年11月実施の第2回「試行テスト」による

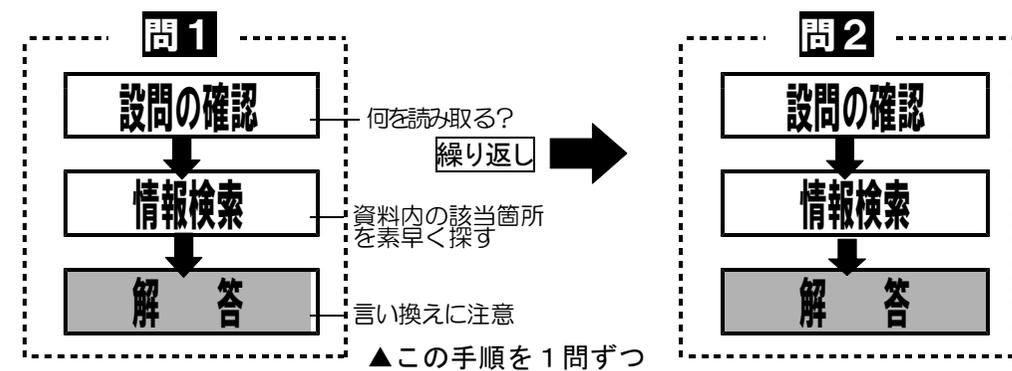
第1問	A 伝言メモ	CEFRレベル A1程度 配点 4点	本文111語	時間配分 3分
-----	--------	--------------------------	--------	-------------------

《問題のねらい》 日常生活に関連した身近な掲示、カタログ、パンフレットなどから、自分が必要とする情報を読み取ることができる。

《★センター試験筆記第4問Bを易しくした問題》

ココです！ **分析力** **判断力**

- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
- ②設問文・選択肢から「何を探せばいいのか」を明らかにする（「キーワード」の設定）。
- ③「キーワード」を検索し（＝キーワードと同等の内容）、周辺の内容を確認する。
- ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。→正解選択肢の発見（本文を言い換えたもの）



第1問	B 告知記事	CEFRレベル A2程度 配点 6点	本文213語	5分
------------	---------------	--------------------------	--------	----

《問題のねらい》平易な表現が用いられている広告、パンフレット、予定表などから、自分が必要とする情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。

《★センター試験筆記第4問Bとほぼ同じタイプ》

ココです！ **分析力** **判断力** **推測力**

- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
 - ②設問文・選択肢から「キーワード」を設定する。
 - ③検索すべき場所を特定する。
 - ④該当場所内で「キーワード」を検索し、周辺の内容を確認する。
 - ⑤「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。→正解選択肢の発見＝本文を言い換えたもの
- ※自分が必要とする情報を読み取り、書き手の意図を把握する。関係のない箇所はじっくりと読む必要はない。

第2問	A 料理のレシピサイト	CEFRレベル A1程度 配点 10点	本文242語	6分
------------	--------------------	---------------------------	--------	----

《問題のねらい》友人、家族、学校生活などの身の回りの事柄に関して、平易な英語で書かれたごく短い説明を読んで、イラストや写真などを参考にしながら、概要や要点を捉えたり、推測したり、情報を事実と意見に整理することができる。

《★センター試験筆記第4問Bとほぼ同じタイプ》

ココです！ **分析力** **判断力** **推測力**

- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
- ②選択肢を「事実」(fact)と「意見」(opinion)にあらかじめ分別して、該当する選択肢を絞り込む。
- ③絞り込んだ選択肢から「キーワード」を設定して、場所を特定して検索する。＝探し読み
- ④「キーワード」について「述べられている」選択肢を正解とする。

●「事実」と「意見」に整理する新傾向問題 ※正答率が落ちる

【事実】とは？

- ・本当にあったこと
- ・調査・実験・検証などで必ず確認できること
- ・世の中の多くの人々が「そう」と認識していること
- ・「正しい or 正しくないか」のどちらか

要確認

【意見】とは？ ★形容詞や助動詞に注意！

- ・自分の考え(憶測も含む)
- ・自分の判断
- ・調査・実験・検証などで確認できないものもある
- ・世の中の多くの人々が「そう」とは認識していないこと
- ・「正しい or 正しくないか」を決められないこともある

●両者をきちんと区別！

「事実」と「意見」などを区別して、理解したり伝えたりすることが求められている。

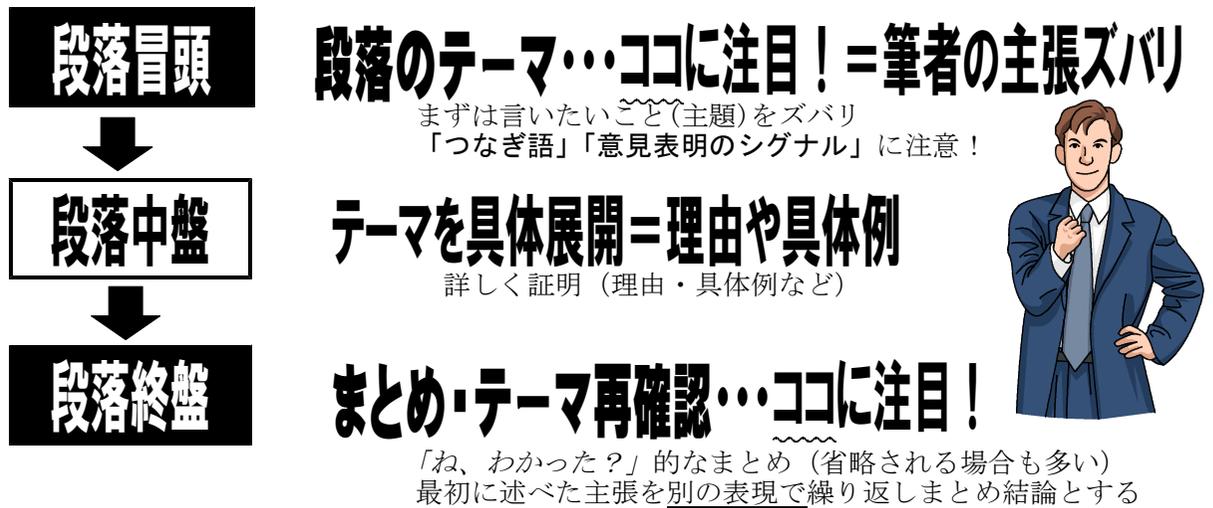
第2問	B 説明文(記事)	CEFRレベル A2程度 配点 10点	本文256語	8分
------------	------------------	---------------------------	--------	----

《問題のねらい》友人、家族、学校生活などの身近な話題に関して、平易な英語で書かれた短い説明を読んで、概要や要点を捉えたり、情報を事実と意見に整理することができる。

《★センター試験第3問Bの発話者を削除したタイプ》

ココです！ **分析力** **判断力** **推測力** **表現力**

- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
 - ②設問文・選択肢から検索に必要な「キーワード」を設定する。
 - ③本文中で「キーワード」を検索→周辺の内容を確認する。
 - ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。→正解選択肢の発見＝本文を言い換えたもの
- ※1つのパラグラフに言いたいことを1つ述べる (one idea in each paragraph)



●語義類推 「文脈」から意味を類推！
必ず次のような「文脈」でテキスト中にヒントが提示されている。
①言い換え(同義語) ②具体例 ③対比(反意語) ④因果関係
解答を導く対応箇所は大半が下線部の前後にある。語彙力を問う問題ではない！

第3問	A ブログ	CEFRレベル A1程度	本文186語	4分
------------	--------------	-----------------	--------	----

《問題のねらい》 平易な英語で書かれたごく、短い物語を読んで、イラストや写真などを参考にしながら、概要を把握することができる。

《★センター試験筆記第5問に類似》

ココです！ **分析力** **判断力**

- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
- ②設問文・選択肢から検索に必要な「キーワード」を設定する。
- ③本文中で「キーワード」を検索→周辺の内容を確認する。イラストの情報にも注意する。
- ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する。

第3問	B 記事	CEFRレベル A2程度 配点 6点	本文307語	7分
------------	-------------	--------------------------	--------	----

《問題のねらい》 平易な英語で書かれた短い物語を読んで、概要を把握することができる。

《★センター試験筆記第5問に類似》

ココです！ **分析力** **判断力**

《キーワード検索型》

- ①問題文冒頭で「場面設定」を把握する。
- ②設問文・選択肢から検索に必要な「キーワード」を設定する。
- ③本文中で「キーワード」を検索→周辺の内容を確認する。
- ④「キーワード」周辺の内容と選択肢を照合する（「原文典拠の法則」）。

《時系列整理型》

- ①選択肢を確認し、設問がスタートするシーンを特定する。
 - ②「最初の変化」→「第2の変化」を特定する。
 - ③残りの流れと選択肢を照合する。
- ※「感情表現」を整理しておくこと。（ランズ新刊に一覧表あり）



読みながら解きながら！

第4問	グラフと記事	CEFRレベル B1程度 配点 16点	本文479語	13分
------------	---------------	---------------------------	--------	-----

《問題のねらい》 比較的短い記事、レポート、資料などから、自分が必要とする情報を読み取り、論理の展開や書き手の意図を把握することができる。

《★センター試験第4問Aに類似。異なった筆者の文章を2つ読ませる形式は2015年度までのセンター試験第5問に類似》

ココです！ **分析力** **判断力** **推測力** **表現力**

※「グラフを読み取る力」&「複数の文書を読む読解力」 グラフ問題に頻出する語（句）を整理

- ①設問文・選択肢から「キーワード」を設定する。
- ②「キーワード」を本文内で検索する。
- ③その周辺にある解答情報を確認する→正解選択肢の発見 ※複数解答あり

第5問	物語（伝記）	CEFRレベル B1程度 配点 20点	本文532語	14分
------------	---------------	---------------------------	--------	-----

《問題のねらい》 短い物語を読んで、概要を把握することができる。

《★ポスターの内容を完成させるのはセンター試験第4問Aに類似文章そのものは「伝記」であり第5問に、文体としては評論文に近いので第6問に類似》

ココです！ **分析力** **判断力** **推測力** **表現力**

5W1Hの法則 **物語文読解の鉄則**

主人公 誰が(who) ?	時間設定 いつ(when) ?	場所設定 どこで(where) ?
行動・思考内容 何を(what) ?	動機・心理 なぜ(why) ?	方法・手続き どのように(how) ?

↑ 超狙われる！
↓ 次に狙われる！

- ①設問文を読んで、何が問われているかを明確に把握する。
- ②本文を読み始め、設問文に現れるシーンを特定する。
- ③その周辺にある解答情報を確認・対照する（「同一内容異表現の法則」）→正解選択肢の発見

第6問

A 記事(社会問題)

CEFRレベル
B1程度
配点 1 2 点

本文529語 10分

《問題のねらい》身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する記事やレポート、資料などを読んで概要や要点を把握したり、情報を整理したりすることができる。また文章の論理展開を把握したり、要約することができる。

《★センター試験第6問に類似(段落に番号あり)》

ココです! **分析力** **判断力** **推測力**

- ①設問文を読んで、何が問われているかを明確に把握する。選択肢は先に読む必要はない。
- ②本文を読み始め、設問文に現れるシーンを特定する。
- ③その周辺にある解答情報を確認する→正解選択肢の発見

第6問

B 記事(環境問題)

CEFRレベル
B1程度
配点 1 2 点

本文479語 10分

《問題のねらい》身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する記事やレポート、資料などを読んで概要や要点を把握したり、情報を整理したりすることができる。また文章の論理展開を把握したり、要約することができる。

《★センター試験第6問に類似》

ココです! **分析力** **判断力** **推測力**

- ①設問文を読んで、何が問われているかを明確に把握する。設問はパラグラフ順に出現。
- ②本文を読み始め、設問文に現れるシーンを特定する。
- ③その周辺にある解答情報を確認する→正解選択肢の発見 「消去法」も活用

《問われている力は??》

- (1) 情報を整理・分類し、事実と個人的意見を区別する力
- (2) 英文を要約する力 論理展開を把握する力
- (3) 与えられた情報から書き手の意図や話の流れを推測する力
- (4) 物語文を読んで、状況・登場人物の特徴・人間関係、話の流れ、概要を把握する力
- (5) 英文・図表・グラフなどの資料から必要な情報を読み取る力

●リスニング (100点)



★2018年11月実施の第2回「試行テスト」による

第1問A 短い発話の聞き取り 【読み上げ回数】2回 CEFR A1程度 各3点 ～話の内容は?～

★単一の人物の発話を読み上げられ、それに最も近い意味の短い英文を選択する。

《問題のねらい》身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い発話の聞き取りを通じて、情報を把握する力を問う。

分析力 **判断力** **推測力**

- ①選択肢の「動詞以降」に注目して事前に読んでおく(先読み)。 ※問題文の英文が流れる前に「指示文(問題の説明)」が流れるが、聞く必要はなし。
- ②1回目で「全体」を聞き、2回目で「細部」を(再)確認する、が聞き方の基本。

ここは満点を狙う箇所 基本中の基本

第1問B 短い発話の聞き取り 【読み上げ回数】2回 A1~A2程度 各4点 ～話の内容を絵で表すと?～

★単一の人物の発話を読み上げられ、その内容を表すイラストを選択する。

《問題のねらい》身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い発話を聞き、それに対応するイラストを選ぶことを通じて、発話内容の概要や要点を把握する力を問う。

分析力 **判断力** **推測力**

- ①イラストの「対立点」を事前に把握しておく→対話を予測する。
- ②1回目で流れが予測通りかどうかを確認、2回目で答えを最終チェックする。

第2問 短い対話の聞き取り 【読み上げ回数】2回 A1~A2程度 各3点

★2人による対話を読み上げられ、最後に質問の英文が読み上げられる。その答えとして最も適切なイラストを選択する。

《問題のねらい》身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い対話を、場面の情報とイラストを参考にしながら聞き取ることを通じて、必要な情報を把握する力を問う。

分析力 **判断力** **推測力**

- ①対話場面(日本語)とイラストから対話内容を予測する。
 - ②1回目で流れが予測通りかどうかを確認し、2回目で答えを最終チェックする。
- ※問題冊子には対話の状況が日本語で書かれている。これを十分活用する。

第3問 短い対話の聞き取り 【読み上げ回数】 2回 A1~A2程度 各4点

★ 2人による対話を読み上げられ、その答えとして最も適切な語句や文を選択する。

《問題のねらい》身の回りの事柄に関して平易な英語で話される短い対話を、場面の情報を参考にしながら聞き取ることを通じて、概要や要点を目的に応じて把握する力を問う。

分析力 判断力 推測力

- ① 場面の説明と、設問文と4つの選択肢から、対話全体の進行を予測する。
- ② 1回目で「キーワード」を拾うことを意識し、2回目で対話の「結論」を確認する。

第4問A 指示・説明の聞き取り 【読み上げ回数】 1回 A2・B1程度 4点、1点×4

★ 単一の人物によるやや長めの発話を読み上げられ、聞こえてくる順番にイラストを並べ換える。

単一の人物によるやや長めの発話を読み上げられ、情報をもとに表中の4つの空所を埋める。

《問題のねらい》必要な情報を聞き取る、図表を完成させたり、分類や並べ替えをしたりすることを通して、話し手の意図を把握する力を問う。ここでは、身近に起きたエピソードや、作業を行うための指示を聞く。

分析力 判断力

- ① 問題の情報から「キーワード」を設定する→「文章の中から何を拾わなければならないか？」

第4問B 複数の説明の聞き取り 【読み上げ回数】 1回 B1程度 4点

★ 4人の発話が順番に読み上げられ、指示された3つの条件をすべて満たす一つを選択する。

《問題のねらい》複数の情報を聞き、最も条件に合う寮を選ぶことを通じて、状況・条件に基づき比較して判断する力を問う。ここでは、複数の学生寮の説明を聞く。

分析力 判断力

- ① 問題から「条件」を確認する。
- ② 聞き取りながら「メモ」を書き込んでいく。
- ③ 聞き取った情報を比較して、特定の「条件」に合う・合わないを判断する。

※話者はアメリカ人、イギリス人、非ネイティブ — グローバル言語としての英語



第5問 講義の聞き取り 【読み上げ回数】 1回 B1程度 各4点

★ 単一の人物による長めの発話を読み上げられ、ワークシート中の空所を埋めながら、講義の骨子を把握する。

単一の人物による発話を読み上げられ、問1の情報および提示された図表を合わせて正しい内容を選ぶ。

《問題のねらい》身近な話題や知識のある社会的な話題に関する講義を聞きメモを取ることを通じて、概要や要点をとらえる力や、聞き取った情報と図表から読み取れる情報を組み合わせて判断する力を問う。ここでは、技術革新と未来の職業の関わりについての講義を聞く。

分析力 判断力 推測力

- ① 与えられたワークシートを把握する。
 - ② 「問われる箇所」や「選択肢の内容」を把握する。
 - ③ 流れの把握はワークシートで放送と同時に目で追う→「聞き取る」べき情報を待つ。
 - ④ 空欄に入る情報に集中する。「メモ」を取りながら。
- ※耳と目から得た複数の情報を総合して、「どのようなことが示唆されるか？」を推測する思考力の問題。

第6問A 対話の聞き取り 【読み上げ回数】 1回 B1程度 各4点

★ 2人によるやや長めの対話を読み上げられ、2人の主張の要点を把握する。

《問題のねらい》身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する会話や議論を聞き、話者の発話の要点を選ぶことを通じて、必要な情報を把握する力や、それらの情報を統合して要点を整理、判断する力を問う。ここでは、ゲームについて異なる意見を持つ二人の会話を聞く。

分析力 判断力

- ① 各大問にある「状況」（1～3行程度）を必ずチェック→対話の状況・内容を把握でき、英文の理解度が増す。
 - ② 「賛成or反対」の把握と「なぜ？」の確認。
 - ③ 全体の流れを聞き損なうことのないように。
- ※対話や議論を聞いて、各発話者の意見の要点を把握し、それらを比較する。

第6問B 議論の聞き取り 【読み上げ回数】 1回 B1程度 各4点

★ 4人による長めの会話が読み上げられ、反対意見を持っている人をすべて選択する。会話のメインとなる人物の意見を支持する図表を選択する。

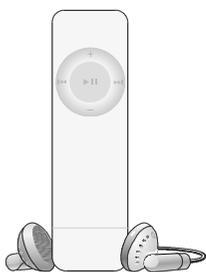
《問題のねらい》身近な話題や馴染みのある社会的な話題に関する会話や議論を聞き、それぞれの話者の立場を判断し、意見を支持する図表を選ぶことを通じて、必要な情報を把握する力や、それらの情報を統合して要点を整理、判断する力を問う。ここでは、ゲームが人に与える影響に関する複数の意見を聞く。

分析力 判断力

- ① 状況説明を読んで議論の内容を確認し、図表・イラスト選択肢のタイトルを確認する。
 - ② 一人一人の議題に対する主張が「プラス」なのか「マイナス」なのかを耳を集中する。
 - ③ 聞き取りの記憶と選択肢を照合する。
- ★ 第5問、第6問は話題に関する背景知識を持っていると聞き取りの助けとなる。

《問われている力は??》

- (1) 短い単独の発話・短い対話の聞き取りに関して、発話の内容や意図を把握する力 (第1問A・B・第2問・第3問)
- (2) 説明・指示などの聞き取りに関して、聞き取った情報を基にグラフや表を完成させることを通じて、情報を整理したり話し手の意図を把握する力 (第4問A)
- (3) 複数の意見・自己宣伝などの聞き取りに関して、聞き取った情報を比較し、特定の条件・状況に合う・合わないを判断する力 (第4問B)
- (4) 講義・説明・意見などの聞き取りに関して、聞き取った情報と図表・グラフ・ワークシートなどから得られる情報を統合して、語義・説明・意見などの概要や要点を把握する力 (第5問)
- (5) 対話・議論などの聞き取りに関して、各人の発言の要点を整理し、比較する力 (第6問A・B)



—『思考力問題の研究 大学入学共通テスト対策編』(旺文社、2018年)



【生徒にぜひ薦めたいリスニングのためのサイト】

- ▶ VOA Learning English (<http://learningenglish.voanews.com/>)
- ▶ BBC Learning English (<http://www.bbc.co.uk/learningenglish/>)
- ▶ CNN10 (<https://edition.cnn.com/>)
- ▶ TED-Ed (<https://ed.ted.com>)
- ▶ National Geographic (<https://video.nationalgeographic.com>)



考えられる対策とは？



【リーディング】

- (1) 多様なテキストタイプの英文に数多く触れる機会を (評論文・物語文・小説・エッセイ・案内・評価・ブログ・ネット記事など) = 実際の身近なコミュニケーション場面を想定した出題 ⇒ センター、英検、GTEC、TOEICなどが使える
- (2) 必要な情報のみを拾い読みする「スキミング」、要点だけを明らかにしていく「スキミング」の練習を
- (3) 思考力・判断力・表現力の養成 → 教室での言語活用の充実を場面設定・設問はすべて英語で行われる → 授業では英語で言語活動
「事実」か「意見」かを見分ける活動
- (4) 「速読」の練習 (wpm を提示しながら) 英文量は増えたが時間は80分のまま
- (5) 「つなぎ語」「パラグラフ展開に関する知識」を身につける指導
- (6) 本文の正しい読み取りのための「文法指導」
- (7) 何よりも豊富な「語彙力」の指導を

【リスニング】★比重が高まったので対策がますます重要に！

- (1) 教室でさまざまなコミュニケーション活動を (実際のコミュニケーション場面を想定した出題がなされる) = ディベート・ディスカッション・プレゼンテーション (+ 質疑応答) ⇒ 思考力・判断力・表現力の養成
- (2) 米音・英音に触れる
- (3) スピーディな情報処理の力を磨く 共通点と相違点を見抜く
- (4) 身近なさまざまな話題に関する背景的知識を蓄える ⇒ 本・雑誌・新聞・テレビ・ネットに親しむ